

ジャマイカ政治・経済月間情勢（2021年7月）

【要旨】

内政では、上半期における国内の殺人件数が、707件記録された。経済においては、カナダ、ドイツ及びスイスからの国際線商用便が再開及び就航した。外交では、米国と新たなプロトコールを含む船舶に係る協定を締結し、相互の領海において不審な船舶が確認された場合、船舶及び船員の逮捕が許可されることとなる。日・ジャマイカ関係では、茂木外務大臣がジャマイカを訪問し、ホルネス首相を表敬訪問した。相互の利益に向けて経済関係を強化するため、引き続き協力及び連携を図ることで合意した。

1 内政

（1） 治安情勢

ジャマイカ警察（JCF）によると、上半期における国内の殺人件数は、707件記録された。（1日付グリーナー紙）

（2） 医師によるストライキ

ゴールドフィン野党党首は、ジャマイカ医療医師協会（JMDA）が、140人以上の医師が契約更新されず解雇される等、政府に対し労働条件の是非を問うストライキを行っていることに関し、コロナ禍において最前線で活躍する医療従事者に対し、政府はこの事態を招いてはいけなかったと非難した。（2日付グリーナー紙及びオプザーバー紙）

（3） ホルネス首相、枢密院顧問官への任命

パトリック・アレン総督は8日、英女王陛下がホルネス首相を枢密院顧問官として任命したことを公表した。（8日付広報局）

2 経済

（1） 偽造品の大量流入

ジャマイカ税関の密輸統制チーム長は、ジャマイカは急速に、中国製偽造アパレル及び靴の主要な処分場及びそれらの南北アメリカ大陸への輸出における経由地となりつつあると指摘した。6月30日、約6千万米ドル相当の偽造品が積載された13個のコンテナが商標権及びコピーライト侵害により押収された。（1日付グリーナー紙）

（2） 飲料水窃取問題

一日に40万人の顧客に対し、1億9千万ギャロン（約7億2千万リットル）の飲料水を供給する国家水道協会（NWC）は、50%の未契約者が、違法に飲料水を窃取しており、収益に影響を及ぼしていると報告した。（1日付グリーナー紙）

（3） 経済動向

ジャマイカ統計局は7月20日、2021年度第1四半期の報告書を公開し、国内総生産（GDP）は、2020年の同時期と比較し、6.7%マイナスであったと報告した。

（7月20日付広報局）

（4） 会計報告違反の疑い

地方自治体は、5月17日に作成した監査報告書を通して、災害準備・緊急管理局（ODPEM）の会計報告に違反があるとして、同局の信頼性を強く批判している。JICAより供与された資金の処理にも問題があると指摘されている。（4日付グリーンナー紙）

（5） 各国からの国際線再開

ア 4日、カナダ・トロント及びドイツ・フランクフルトより商用便がサングスター国際空港に到着し、旅行業界は回復の兆しに歓喜している。（5日付オブザーバー紙）

イ 5日、初の週一回スイス～モンテゴベイ間のフライトが就航する。スイス国際航空及びルフトハンザグループ所有のエーデルワイス航空による運航となる。

（5日付オブザーバー紙）

（6） 熱帯暴風雨による被害総額

熱帯暴風雨エルサの影響により、少なくとも6県が8億ドル相当の被害を受けた。

（6日付グリーンナー紙）

3 外交

（1） 国際情勢への対応／反応

ア ジャマイカ上院は6月29日、米国によるキューバへの経済制裁の延長に対する国連の非難の決議に同意した。（1日付オブザーバー紙）

イ ホルネス首相は、7日に発生したモイーズ・ハイチ大統領夫妻の暗殺事件を受け、凶悪行為であると非難し、カリブ地域のフランス語圏に傷を残すだろうと述べた。（7日付オブザーバー紙）

（2） インド国務大臣の訪問

ムラリードハラン・インド外務省国務大臣は、7日から9日にかけてジャマイカを訪問する。インドの大臣による訪問は、2017年4月以来となる。（4日付グリーンナー紙）

（3） 米・ジャマイカ関係

スミス外相は2日、ジャマイカと米国は新たなプロトコールを含む船舶に係る協定を締結したことを発表した。同協定は、相互の領海において不審な船舶が確認された場合、船舶及び船員を逮捕することが許される。（7日付グリーンナー紙）

（4） 気候変動関連

ア 5日にジャマイカを訪問したアロック・シャルマ国連気候変動枠組条約第 26

回締約国会議（COP26）議長は、ジャマイカは気候変動への取り組みにおいて
明白なリーダーであると述べた。同議長とホルネス首相及び気候変動に係る
分野の技術官僚は、これまでジャマイカが取り組んできたような意欲的な活
動に対し、年間1000億米ドルを投資することについて集中的に協議を行った。
（27日付オブザーバー紙）

- イ パネル・チャールズ・住宅・都市再開発・環境・気候変動大臣は、英国にて
25日から27日に開催された気候変動ハイレベル閣僚協議に出席した。パ
リ協定の条項にある“損失と損害”問題への取り組みを最優先とすることへの
再確認及びコンセンサスが図られた。（28日付オブザーバー紙）

4 日・ジャマイカ関係

茂木外務大臣訪問

- ア 茂木外務大臣は19日から20日、ジャマイカを訪問し、日本とジャマイカの
経済関係の強化に向けて協議を行う。ホルネス首相への表敬訪問、スミス外相
との協議及び日本・カリコムとの閣僚協議を開催する。（15日付ラジオ・ジャ
マイカ・ニュース）
- イ 茂木外務大臣は20日、ホルネス首相を表敬訪問したところ、同首相はツイッ
ターに以下のとおり記した。「私たちは世界的に直面している新型コロナパン
デミックへの対策や、ジャマイカにおける水際対策について建設的な協議を
行った。また、二国間の経済関係の強化についても協議した。ジャマイカと日
本は、相互の利益に向けた取り組みを強化するため、引き続き協力と連携を図
っていく。」（21日付ホルネス首相ツイッター）

5 新型コロナウイルス関連

（1） デルタ株

タフトン保健大臣は、海外で検査されたジャマイカ国内の新型コロナの検体にお
いて、デルタ株は確認されなかったと述べた。（13日付ネーションワイド・ニュ
ース）

（2） ワクチン関連

- ア タフトン保健大臣は、病床数の不足及び陽性率の高さが著しく、さらに、新型
コロナ第3波に効率的に対応するには、ワクチン接種率が低すぎることを認
めた。（23日付グリーン紙）
- イ タフトン保健大臣は、次回の新型コロナワクチン到着時には、対象者を制限せ
ず、誰もが接種可能とする方針を言及した。（26日付ラジオ・ジャマイカ・
ニュース）

この資料は、ジャマイカの政治・経済情勢を中心に各種報道・発表をとりまとめたものですので、記載事項の信憑性まで確認したものではありません。

記載事項は、在ジャマイカ日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。